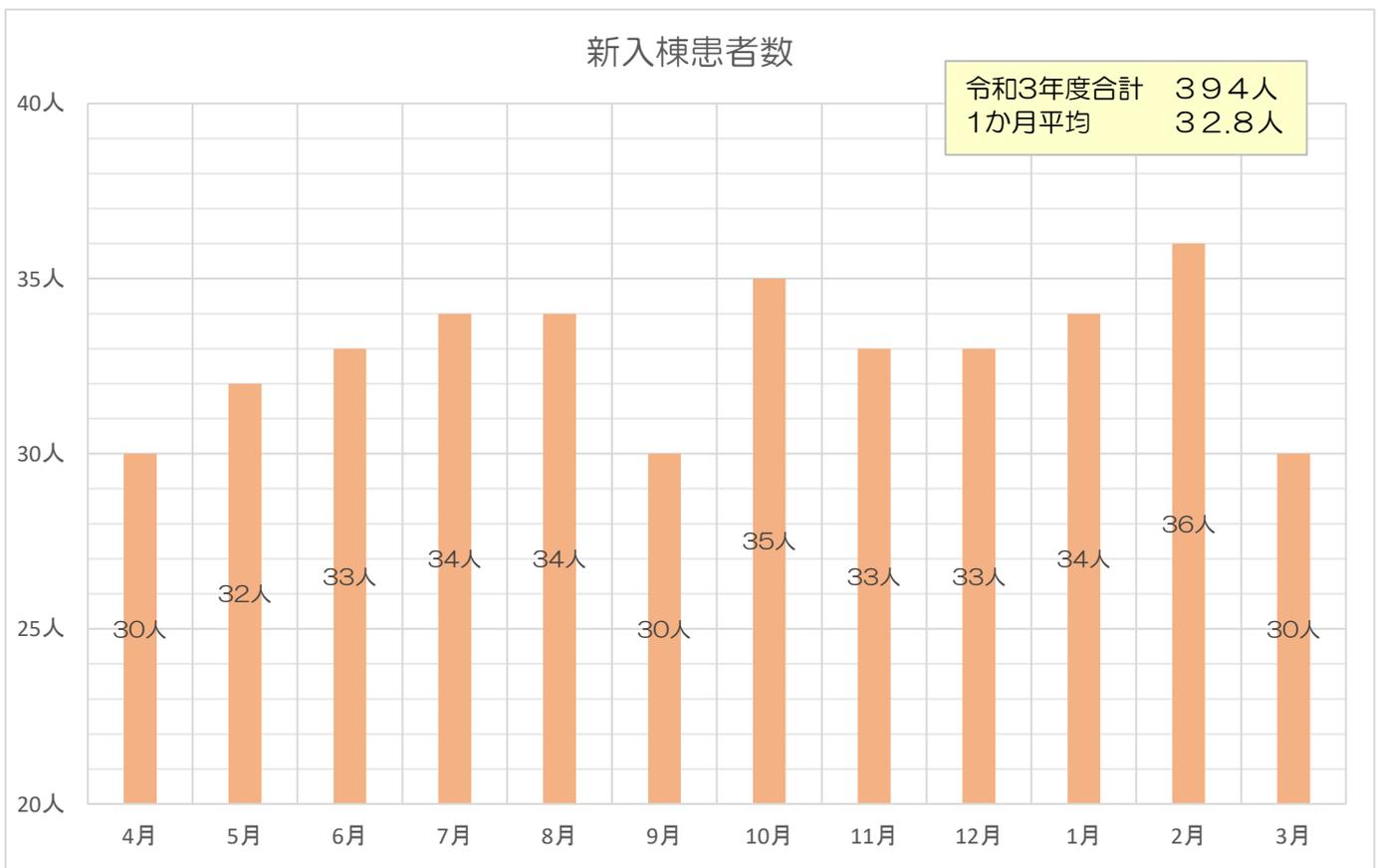
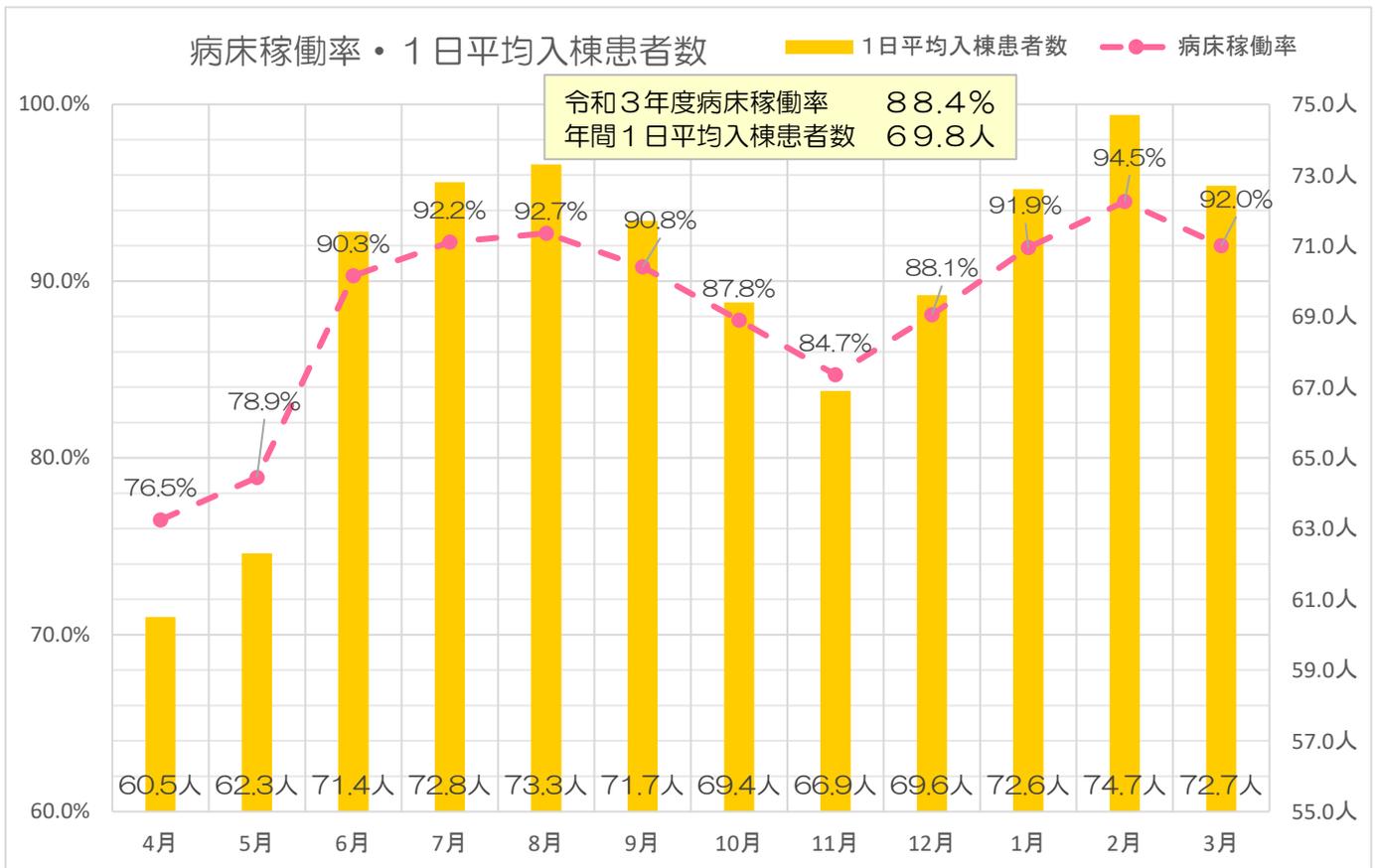
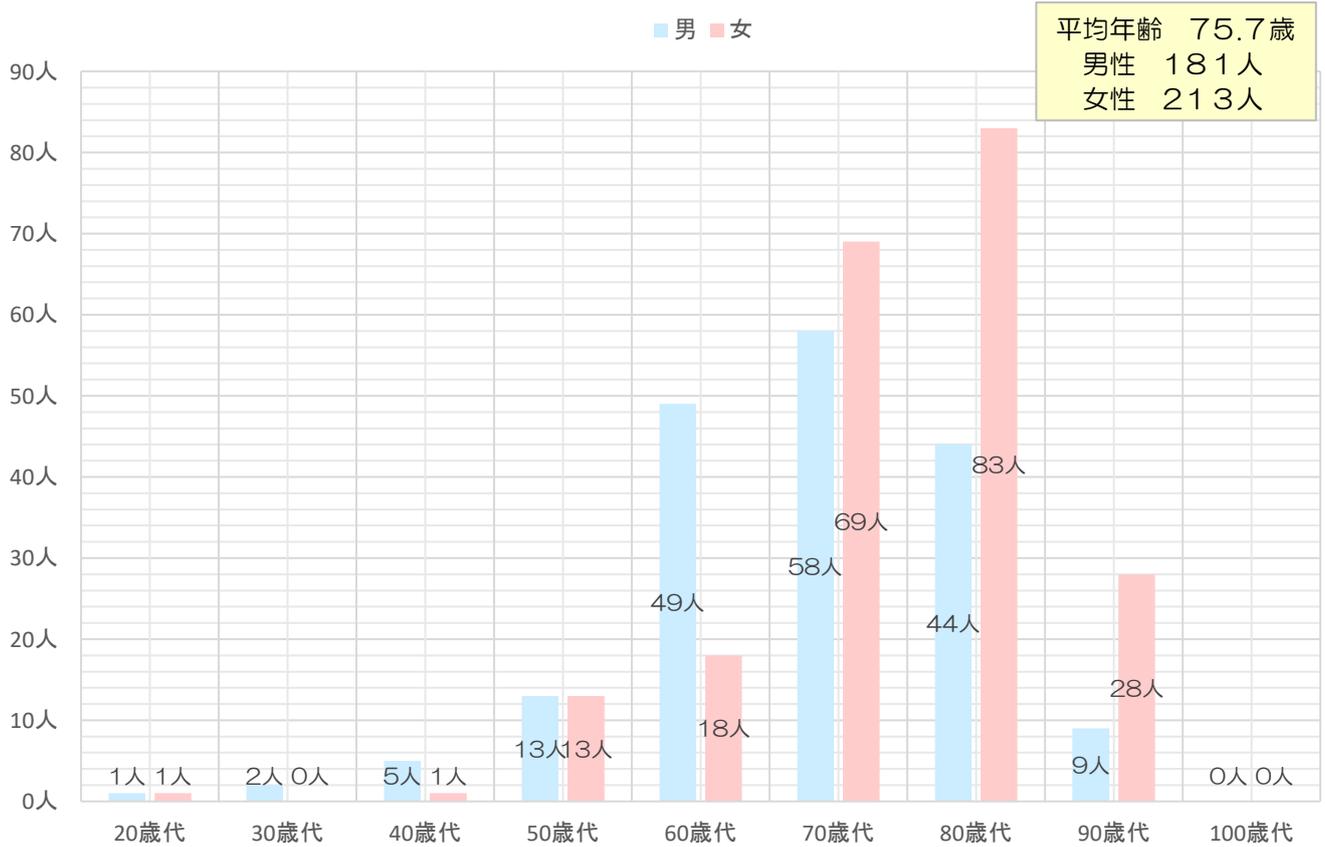


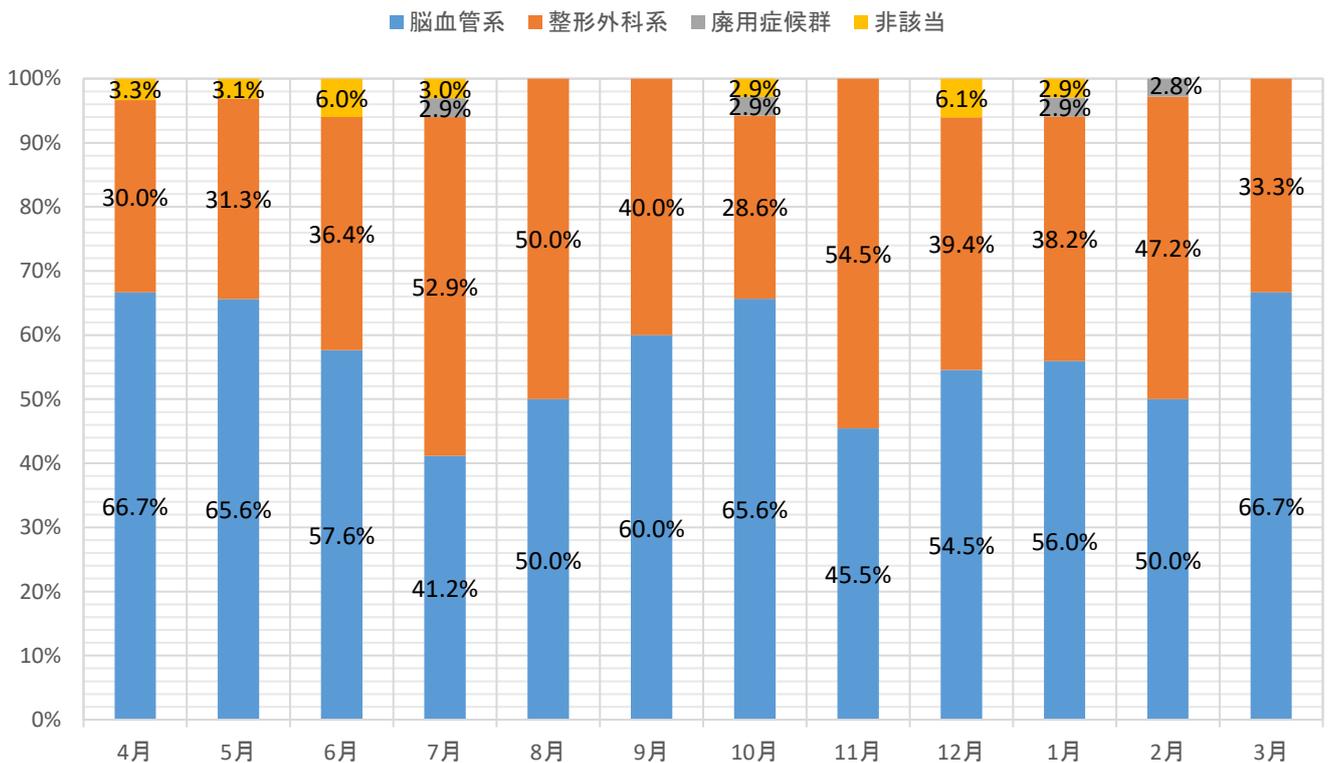
令和3年度 回復期リハビリテーション病棟の診療実績



性別・年代別新入棟患者



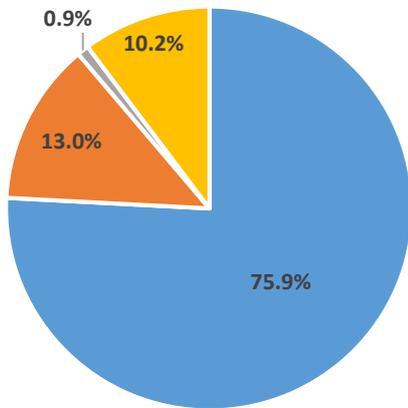
新入棟患者の入棟疾患別割合



退院先（令和3年度退棟患者 390人）

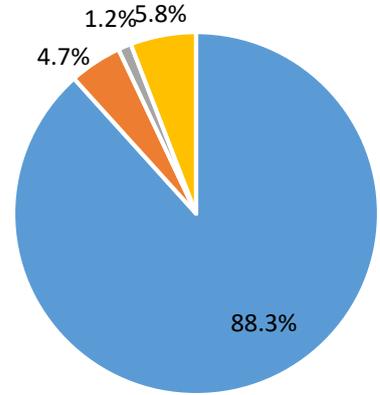
脳血管系

- 自宅
- 特老・有料老人ホーム等
- 老健
- 転棟・転院



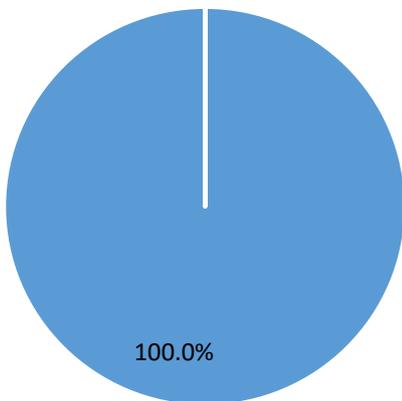
整形外科系

- 自宅
- 特老・有料老人ホーム等
- 老健
- 転棟・転院



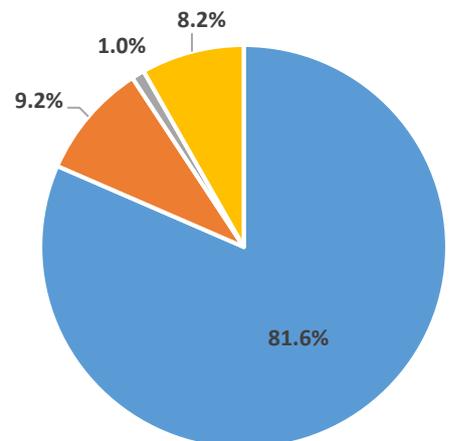
廃用症候群

- 自宅
- 老健
- 転棟・転院



全体

- 自宅
- 特老・有料老人ホーム等
- 老健
- 転棟・転院



平均在棟日数

令和3年度平均在棟日数
65.0日



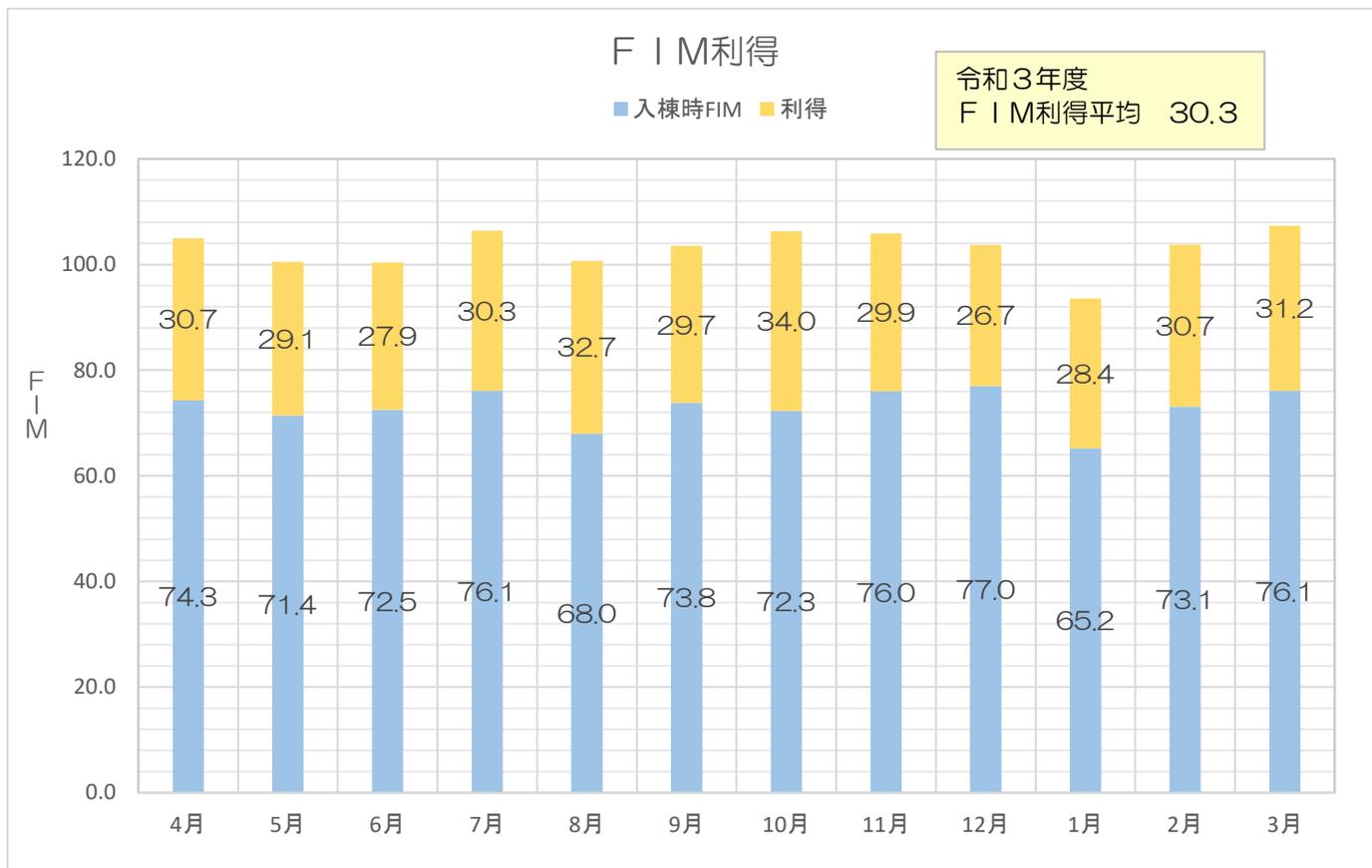
患者1人あたり1日平均リハ実施単位数

■ A4病棟 ■ B2病棟



1人1日平均リハ実施単位数 = 病棟毎のリハ実施単位数合計 ÷ 延入棟患者数

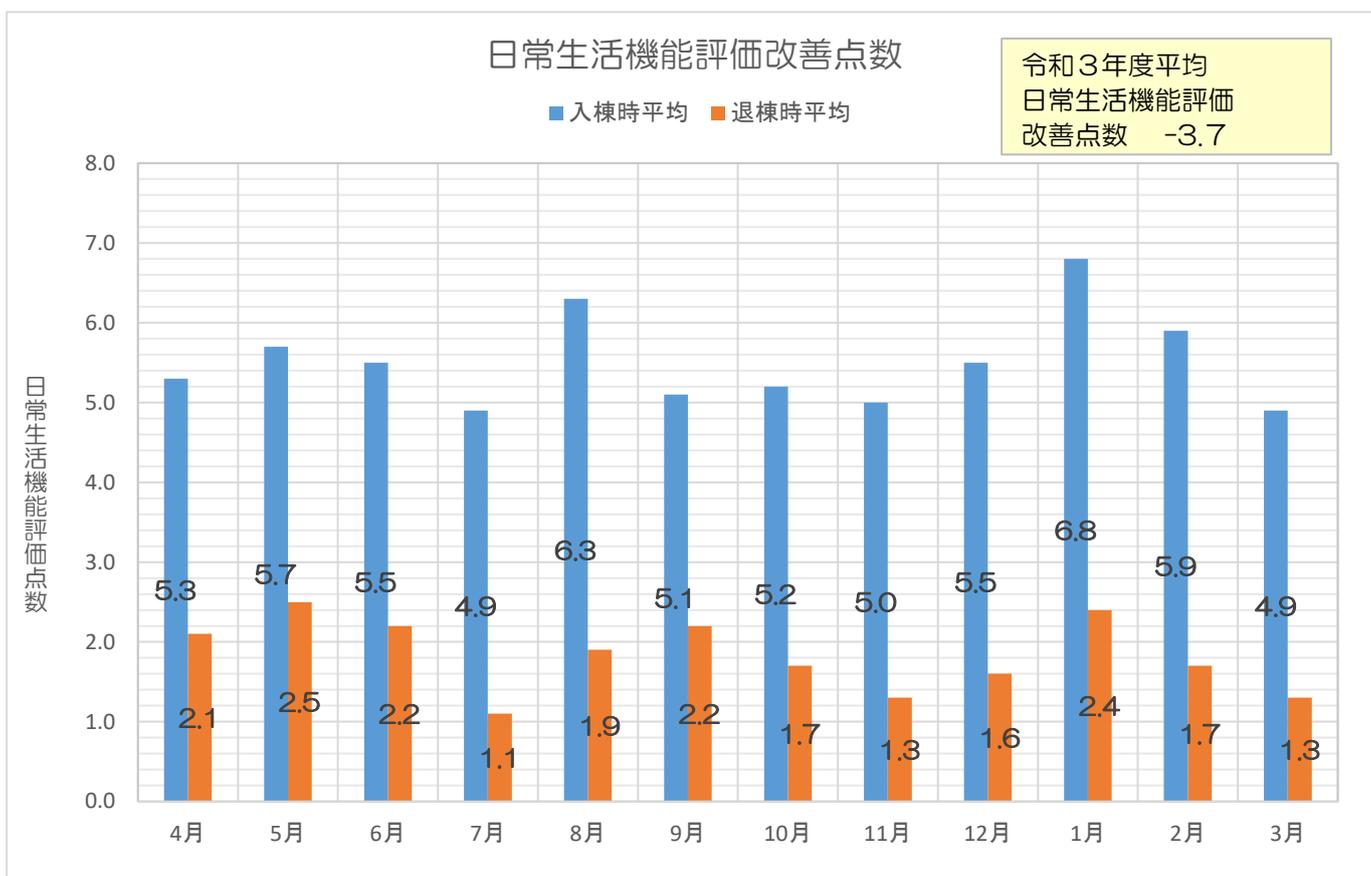
※平成27年度からは、休日もしリハビリテーションを提供できる体制となっております。



※F I Mとは、機能的自立度評価表の略で、運動項目13項目と認知項目5項目からなるADL評価法です。
 合計点が高いほど、実生活での日常生活動作の自立度が高いことを意味します。
 利得＝退棟時F I M－入棟時F I M（値が高いほど回復していることを示します）

入棟疾患別 F I M利得

	脳血管系	整形外科系	廃用症候群	全 体
入棟時F I M平均	71.2	70.3	99.0	73.2
退棟時F I M平均	102.4	98.1	147.0	103.5
F I M利得平均	31.2	27.8	48.0	30.3



※日常生活機能評価とは、日常の基本的動作の13項目について、3段階で評価するものです。
 合計点が低いほど、生活自立度が高いことを意味します。
 改善点数＝退棟時点数－入棟時点数（値が低いほど改善していることを示します）

入棟疾患別日常生活機能評価点数

	脳血管系	整形外科系	廃用症候群	全 体
入棟時平均	5.3	5.3	9.5	5.5
退棟時平均	2.1	1.1	4.0	1.8
改善点数平均	-3.2	-4.2	-5.5	-3.7